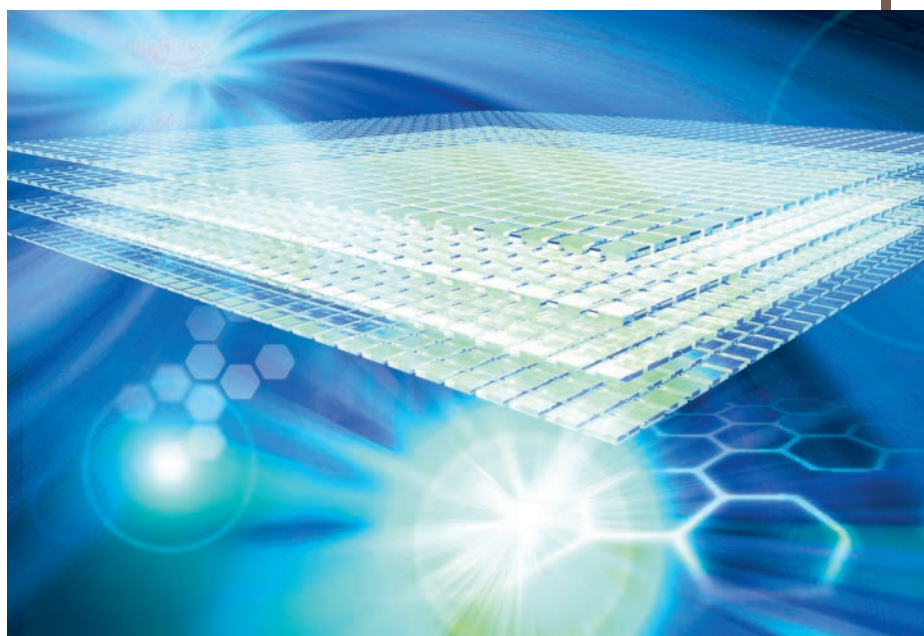


ETERNAL

HI-CORROSION ENGINEERING

高耐食性ライニング材

エターナル[®]
ポリアロイII
エターナル[®] #1000



各種プラント

工場設備

実験設備

反応槽

貯槽

人と暮らしの環境テクノロジー

FUJIRESIN

高性能耐食ライニング材。

エターナル®

我が国で最初に開発され、今なおその伝統技術をベースに数多くの実績を重ね続けている高耐食性ライニング材です。その卓越した耐食性と信頼性は広く海外までも知られています。

エターナル®の特長

長年の実績と信頼性

我が国で独自に開発して以来、70年を超える長い実績を誇り、その間熱い信頼に応え繰り返しご使用頂いています。

優れた耐薬品性

数あるライニング材の中で、最高の耐酸性、耐熱性、耐溶剤性を有し、酸化性酸を除くほとんどの無機酸、有機酸、有機溶剤に耐用致します。

強固な耐久性

コーティング材としては薄膜であるにもかかわらず、強固な耐久性があり、塗膜性能が優れています。



7000リッターコンテナ
エターナルコーティング



30M³製品タンク
エターナルコーティング

■ 施工法ラインアップ



20M³溶解機
エターナルコーティング

■ 耐薬品性

■ : エターナル ■ : ポリアロイII ■ : エターナル#1000

			使用温度 [°C]			
			25°C	50°C	75°C	100°C
酸	硫酸	20%	■	■	■	■
		60%	■	■	■	■
		80%	■	■	■	■
	塩酸	10%	■	■	■	■
		35%	■	■	■	■
	乳酸	100%	■	■	■	■
アルカリ	苛性ソーダ	5%	■	■	■	■
		40%	■	■	■	■
		アンモニア	28%	■	■	■
有機溶剤	ベンゼン	100%	■	■	■	■
	トルエン		■	■	■	■
	キシレン		■	■	■	■
	メタノール		■	■	■	■
	E D C		■	■	■	■
	M E K		■	■	■	■

※耐薬品表は、一つの目安ですから、材質決定の際には必ず弊社とご相談下さい。

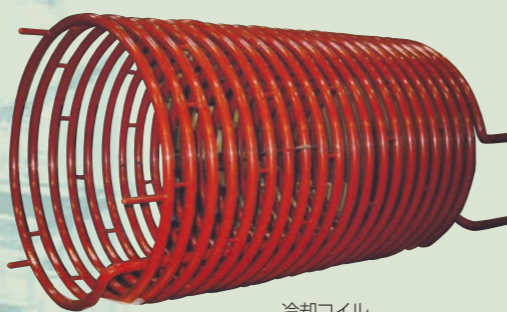
防食の歴史は「エターナル」から始まり
今、伝統の技術と名門の技術との融合で
最強の防食が誕生。

防食ライニングを日本で1933年に着手し、その技術を世界に
知らしめたのは本荘耐酸化学機械(株)(1988年耐酸テックが継承)
でした。

先駆者としてその名を不動のものにし、今日に至っています。
このたび、2004年11月、同じく防食のバイオニアで、製品製造
や技術面で協力関係にありました弊社が商標・製造・販売を継
承いたしました。

ポリアロイII 優れた耐アルカリ性

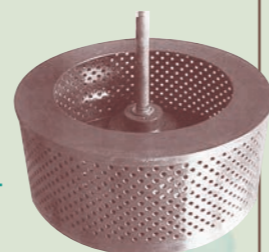
エターナルと同等の耐酸性、耐溶剤性を
保持しながら、耐アルカリ性を改良しました。



エターナル#1000

地球に優しい天然素材による万能型

他のライニング材が石油を原料とした合成樹脂であるのに対し、トウモロコシを原料とした耐酸、耐アルカリ、耐溶剤にバランス良く耐用する万能型フラン樹脂を採用しています。



商品一覧表

品番	工法	材質	耐薬品性				厚み [mm]
			耐酸性	耐アルカリ性	耐溶剤性	耐熱性	
エターナル	コーティング	フェノール	◎	×	◎	◎	0.4
ポリアロイII		変性フェノール	◎	○	◎	○	0.3
エターナル#1000	FRPライニング	フラン	○	◎	○	○	1~1.5

物性表

項目	単位	エターナル	ポリアロイII	エターナル#1000
比重	g/cm ³	1.8	2.0	1.7
耐熱性	℃	200	180	160
引張り強度	MPa	50	50	150
曲げ強度	MPa	75	70	170
伸び率	%	0.5	0.5	1.5
耐衝撃性	デュポン式 g × cm	500×30	500×30	500×50
熱膨張係数	cm/cm/℃ × 10 ⁻⁵	2.0	2.1	1.9
接着強度	引張り剪断 MPa	15	14.5	12.5

【注】1MPa=10.20kgf/cm²

ご使用上の注意事項

取扱いならびに使用にあたって、次の事項に充分留意されますようお願い致します。

- 材質は、用途に応じ選定されていますので、ご使用条件は設計時の条件を必ずお守り下さい。止むを得ず変更される場合は、弊社にご相談下さい。
 - 周辺で作業される場合は、火気を接触させたり、衝撃（工具などをぶつけたり、落としたり）を与えないようご注意ください。
 - ご使用中は、目視により異常がないかどうか、必ず定期的に点検を行って下さい。異常が発見された場合は弊社にご連絡下さい。
 - 槽などの点検、洗浄などで内部に入る場合は、底の柔らかい靴をご使用下さい。また、濡れている場合は、滑りやすくなりますのでご注意ください。なお、内部洗浄は水洗いを原則としていますので、蒸気洗浄・溶剤洗浄・薬品洗浄の場合は弊社にご相談下さい。
- その他、ご不明な点がありましたら、弊社にお問い合わせ下さい。



富士レジン工業株式会社

本社・工場 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江3丁目1番17号
TEL.(06)6499-0301 FAX.(06)6497-0821

東京支店 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1番8号
(ACN日本橋大伝馬町ビル4階)
TEL.(03)3663-4300~3 FAX.(03)3663-4304

富士工場 〒419-0202 静岡県富士市久沢164-4
TEL.(0545)71-4143 FAX.(0545)71-0558

名古屋営業所 〒465-0013 愛知県名古屋市長区社口1丁目913番地
TEL.(052)771-3866 FAX.(052)776-7056

福岡営業所 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目1番10号
(天神シルバービル8階)
TEL.(092)781-6858 FAX.(092)781-7871